

人権が尊重される社会の実現に向けて

公園整備と人権のまちづくり

市営小坂井住宅の建て替えに伴い、周辺整備事業として平成22年3月小坂井2区に公園が完成しました。



完成した「人権のまちづくりふれあい公園」

公園整備の取り組み

住宅の建て替えと公園の整備に当たって、小坂井1区・小坂井2区・大崎区の各区長、住宅住民の代表者、行政とで組織した「人権のまちづくり小坂井・大崎地区推進委員会」（以下、「まちづくり推進委員会」という。）を立ち上げました。

これら一連の事業を人権のまちづくり事業として位置づけ、行政と地域住民が一緒になり、事業の推進はもとよ

り、人権・同和問題の解決を目指して取り組んできました。

これまで、小坂井・大崎地区には、子どもたちや高齢者が安心して利用できる広場のある公園がありませんでした。

まちづくり推進委員会では、人権のまちづくりの視点にたち、何度となく協議を重ね、さらに、アンケートを実施して、区民の皆さんの意見を取り入れてきました。

このようにして、多目的トイレが設置された、交流・ふれあいができる多目的広場ができました。公園全体がバリアフリー化（段差解消）され、誰もが安全で安心して利用できる公園になりました。

人権のまちづくりふれあい公園

こうした取り組みの経過を踏まえ、まちづくり推進委員会で、公園の名称を「人権のまちづくりふれあい公園」と決定しました。今後、公園が地域住民の交流・ふれあいの場となることを願って、記念の石碑が設置されました。石碑には、「ひとりとはみんなのためにみんなはひとりのために」と刻まれています。4月には、小坂井1区・小坂井2区・大崎区の方々により、公園の開園記念としてグラウンドゴルフ大会が開催されました。

夕涼みふれあい祭り

8月25日には、まちづくり推進委員会を核とした実行委員会で、公園のオープニングイベント「夕涼みふれあい祭り」が開催されました。このイベントは小郡校区で進められている人権のまちづくりの一環として実施され、とくに高齢者と子どもとのふれあいを目的に行われました。



当日は、「小郡プロバスクラブ」による紙しばい、「たなばたふれあい小郡一座」によるバナナのたたき売り、南京玉すだれなどの催し物、多くの夜店が出され、子どもからお年寄りまで約千五百人の人で賑わいました。

また、ペットボトルのキャップで世界の子どもたちにポリオワクチンを贈る活動に協力しようと、子どもたちは持って来たペットボトルのキャップを買い物券と交換し祭りを楽しみました。この公園を、地域住民の憩いの場・交流の場、人権のまちづくりの場にしたいものです。

小坂井2区 佐野区長さんの声



夕涼みふれあい祭りは、子どもと高齢者の交流ができ、たくさんの人で盛り上がりました。

これまで、遊んだり、集うことのできる公園は、区民の強い要望でした。今後も人権のまちづくりに向けた住民の交流・ふれあいの場として活用していきたいと思っています。

公園利用の問い合わせ先

まちづくり推進課施設・公園係
☎ 72・2111 内線333